

令和7年第3回（9月）定例会 総務常任委員会報告書

議案番号	議案の名称	審査結果	採決日
議案第131号	宝塚市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意 (全員一致)	9月12日

審査の状況

① 令和7年 9月12日 （議案審査）

・出席委員 ◎梶川 みさお ○泉 友紀 浅谷 亜紀 田中 こう
 寺本 早苗 中野 正 村松 あんな 森賀 宣代

② 令和7年 9月19日 （委員会報告書協議）

・出席委員 ◎梶川 みさお ○泉 友紀 浅谷 亜紀 田中 こう
 中野 正 村松 あんな 森賀 宣代
 ・欠席委員 寺本 早苗

（◎は委員長、○は副委員長）

令和7年第3回（9月）定例会 総務常任委員会報告書

議案番号及び議案名	
議案第131号 宝塚市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	
議案の概要	
次の者を宝塚市教育委員会委員に任命しようとするもの。 川上 泰彦	
論 点 なし	
<質疑の概要>	
問1 川上氏は、宝塚市の教育課題についてどのように考え、それに対してどのように取り組む意向か。 答1 川上氏は、現在本市の教育環境審議会の委員であり、その視点から学校のこれからの配置の在り方や宝塚市の校区の規模などを課題と認識している。また校長のリーダーシップなど学校運営の問題にも専門性があり、教育環境全体を見たときに学校運営にも着手すべき課題があると考えている。 問2 前任者が弁護士であり、子どもの人権問題など様々な法的な問題が分かる人であったが、今回法的な専門性をどのように考え、今の宝塚市の教育行政として何を重視しているのか。 答2 現在、スクールロイヤー制度を導入し、また教育委員会専属の顧問弁護士も契約していることから、法的な問題については、顧問弁護士の意見と子どもを中心とした意見の両方を整理した上で対応できている。今回は、今後教育課程、カリキュラム等を含めて、学びについてしっかり取り組んでいく必要があることから、学校経営も含めた教育課程に知見のある教育関係者が必要と考えた。	
委員間討議 なし	
討 論 なし	
審 査 結 果 同意（全員一致）	